



令和5年2月28日
九州地方整備局
苅田港湾事務所

“みなと”が支える私たちの暮らし！ 苅田港の機能強化と投資効果を紹介します

○海上輸送網の拠点として機能する港湾は、背後に産業集積が進み、地域の雇用と経済を支え、産業の国際競争力を向上させる重要な役割を担っています。
○九州地方整備局では、苅田港を対象に、港湾が地域にもたらす効果を定量的・定性的に収集し、今般「苅田港の機能強化と地域にもたらす効果」をまとめました。

○サプライチェーンのグローバル化の進展により、島国日本における港湾の役割はますます重要になる中、港湾への投資は、新たな産業誘致や地域産業の再生、雇用創出、更なる民間投資の促進を誘発するなど、地域の発展や企業の国際競争力を高め、日本経済の成長を牽引しています。

○こうした地域の産業、経済を支えている港湾の事例を紹介するため、九州地方整備局では、苅田港を対象として、港湾が地域にもたらす効果を定量的・定性的に収集整理することを目的として学識者等で構成される「苅田港の機能強化と地域にもたらす効果に関する検討会」を設置し、令和4年11月より苅田港整備の変遷や苅田港がもたらす地域活性化と雇用創出の効果等について、議論を行いました。

○今般、苅田港の港湾整備が地域にもたらす効果を定量的・定性的に収集し「苅田港の機能強化と地域にもたらす効果」としてまとめました。是非ご覧いただき、普段、私達があまり意識することのない港湾が、暮らしや経済にどのような影響を与えているのか、ご興味を持っていただければ幸いです。

【添付資料】

- ・別紙1 検討会構成員
- ・別紙2 苅田港の機能強化と地域にもたらす効果

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課長 栗畑（くわはた）
クルーズ振興・港湾物流企画室課長補佐 南野（なんの）
TEL：092-418-3379

国土交通省 九州地方整備局 苅田港湾事務所 沿岸防災対策官 黒田（くろだ）
TEL：093-436-0582

苅田港の機能強化と地域にもたらす効果に関する検討会

構成員

(敬称略・順不同)

(学識者)

九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 地盤工学部門 教授 廣岡 明彦

西日本工業大学 工学部 総合システム工学科 土木工学系 准教授 松下 紘資

(団体)

苅田商工会議所 会頭 三原 茂

かんだ国際交流親善大使チーム 代表 マクドナルド 晶子

(行政)

福岡県 県土整備部 港湾課 課長 龍 啓明

福岡県 苅田港務所 所長 永田 仁美

苅田町 政策監 隅田 衡輝

九州地方整備局 苅田港湾事務所 所長 佐藤 誠治

(事務局)

九州地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

苅田港の機能強化と地域にもたらす効果

苅田港の特徴と産業集積

- 苅田港は、九州北東部の重要港湾で、北九州空港と東九州自動車道との物流ネットワークの結節点となっている。
- 苅田港の臨海部には、自動車関連企業、セメント関連企業、発電所等、国内主要産業を担う多くの企業が立地・集積しており、苅田港とともに発展を遂げている。
- 苅田港は、それらの企業の生産活動に必要な海上輸送拠点として機能を果たしている。

苅田港の特徴

■ 地理的優位性

- ・苅田港から500km、1,000km圏内に北東アジアとわが国の主要都市圏が位置しており、迅速なアクセスが可能。
- ・比較的静穏な周防灘に面し、背後には日本有数のカルスト台地平尾台が連なり豊富な地下資源を有す。

■ 陸海空の物流ネットワークの結節点

- ・苅田港の半径5km圏内に北九州空港、東九州自動車道ICが立地しており、港湾施設に加え、24時間運用の空港、高速道路網等の輸送モードが利用可能。

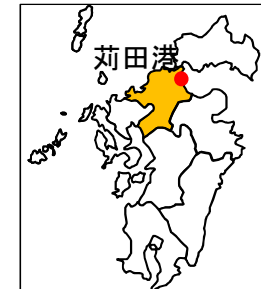
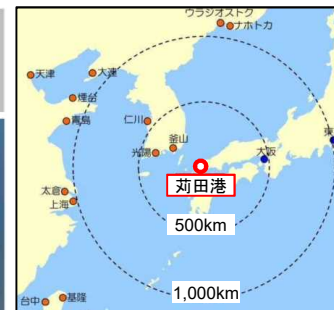
■ 多彩な貨物を取り扱う港湾施設

- ・苅田港の港湾施設では、原材料等のバルクカーゴや完成自動車・RORO貨物等のクリーンカーゴ等の多彩な貨物の取扱いが可能。

■ 広大な臨海工業用地

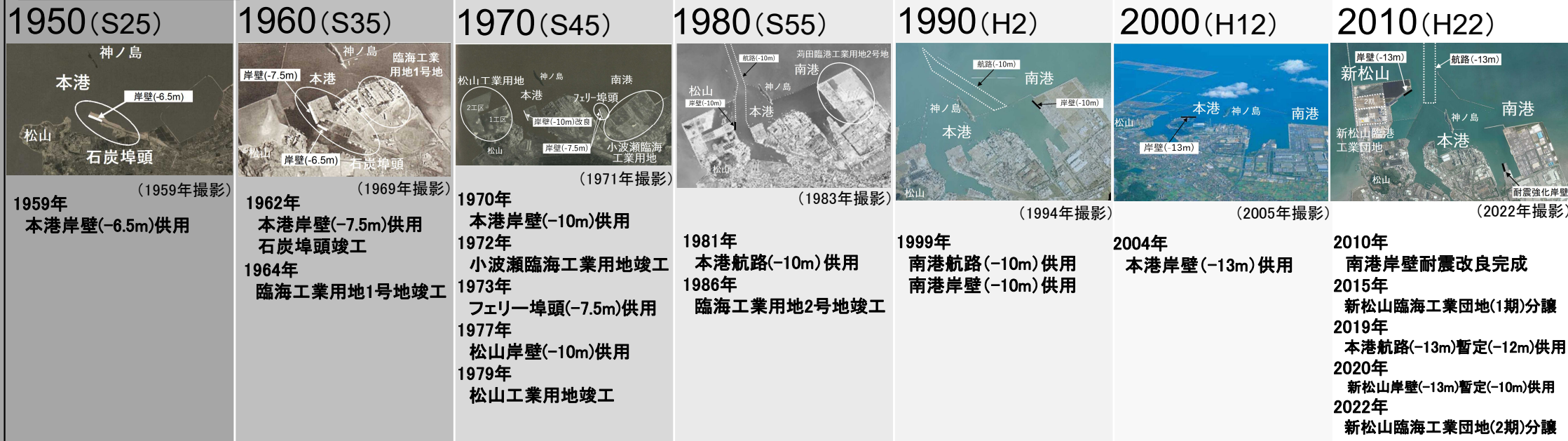
- ・港湾に面した広大な臨海部産業用地に電力、セメント、自動車関連等の国内主要産業を担う多くの企業が集積。
- ・企業用地の受け皿として、2022年度に、新松山地区で新たな臨海工業用地を分譲しており、将来的な用地拡張も可能。

苅田港と産業集積の状況

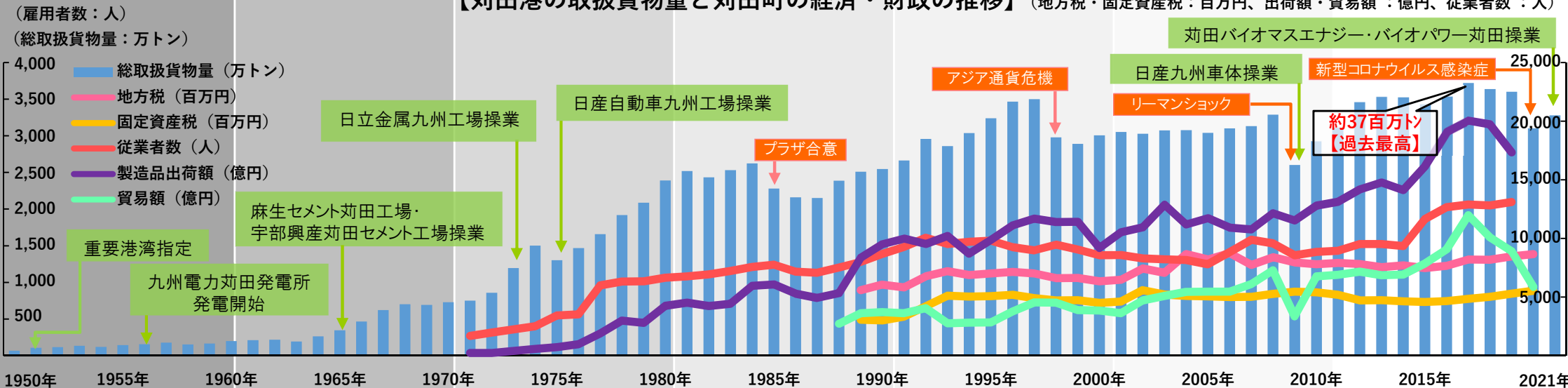


苅田港の整備と地域活力の創出

苅田港整備の変遷



【苅田港の取扱貨物量と苅田町の経済・財政の推移】 (地方税・固定資産税：百万円、出荷額・貿易額：億円、従業者数：人)



※総取扱貨物量は、国土交通省「港湾統計年報」より1940年～2020年を、福岡県苅田港要覧(令和3年版)より2021年を、それぞれ集計。

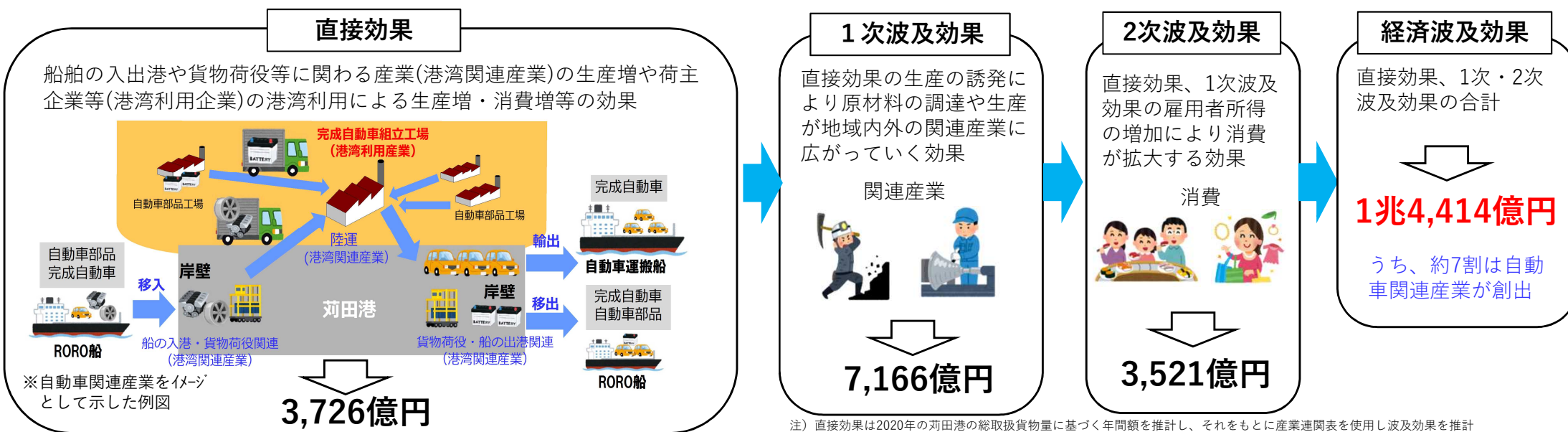
※従業者数、製造品出荷額は、経済産業省「工業統計」より、1971年～2019年を集計。貿易額は、財務省「貿易統計」より、1988年～2020年を集計。

(出典)港湾統計、工業統計、貿易統計、福岡県苅田港要覧(令和3年版)、総務省「地方財源状況調査」、国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」、苅田港のあゆみ(福岡県苅田港務所)、かんだの歴史軌跡(苅田町合併50周年記念誌)、苅田港の軌跡60年(運輸省苅田港湾工事事務所)

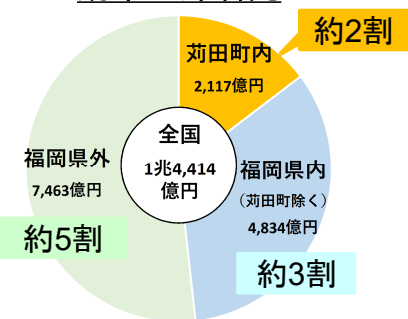
地域にもたらす効果< 苅田港利用企業の経済活動を通じて創出される経済波及効果 >

- 苅田港は、これまでの港湾整備により、雇用増加、所得向上、更なる投資促進等の多様なストック効果を発現し、全国に年間で約1兆4,414億円の経済波及効果をもたらしている。福岡県内には、全体の約5割に相当する経済波及効果をもたらされ、苅田港が所在する苅田町に最も裨益する（苅田町の町内総生産額の約8割、雇用所得の約9割に相当）。
- 苅田港は、企業活動に必要な海上輸送拠点としての機能を果たし、苅田町のみならず、九州ひいては全国の経済活性化と雇用創出に貢献している。

苅田港利用企業の経済活動を通じて創出している全国への経済波及効果

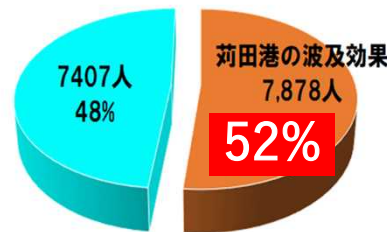
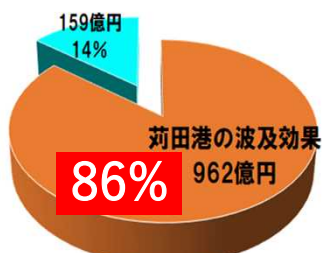
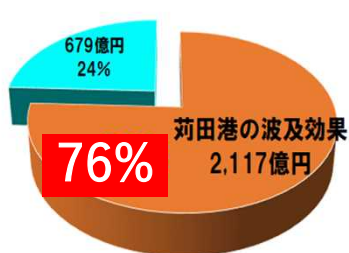


苅田港による経済波及効果の帰着先



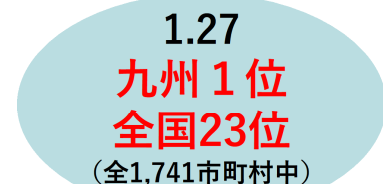
苅田町にもたらす経済活性化と雇用創出

< 町内総生産 2,797億円 > < 町内雇用者所得額 1,120億円 > < 町内雇用者数 15,285人 >



苅田町の財政力 (参考)

< 財政力指数 >



注) 苅田町の町内総生産(粗付加価値額)と雇用者所得額は「令和元年度市町村経済計算/福岡県」の令和元年度の数値、雇用者数は「令和2年国勢調査 就業状態等基本集計」の令和2年の数値を用いている。

(出典) 総務省HP 令和2年度地方公共団体の主要財政指標一覧より集計